

【研究事例6】 高等学校第1・2・3学年（鑑賞）

1 個人研究テーマ

「生徒の発達段階における鑑賞の指導」

2 はじめに

（1）研究の概要

高等学校学習指導要領の芸術目標に「芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。」とある。高等学校における目標達成のためには、小学校や中学校での鑑賞の分野において、どのような関わりがあるのか考えていきたい。また、学校教育12年間を通して、我々教師がどのように指導していかなければならないのか考えていきたい。

（2）本校の概要

本校は1学年、2学年、3学年、計18クラスの普通科高校である。

1クラス30人程度の人数で、進路状況については、進学が4割、就職が5割、その他が1割の状況である。

目指す学校像については「節度と起立を重んじ、新たな自分の創造に向け、常に全力を尽くす生徒を育む学校」であり、生徒一人一人の可能性を發揮させ、社会で活躍できる人材を育てあげる指導をしている。

（3）芸術科の教育課程

芸術科目については、音楽・書道・美術の中から1科目を選択し、3年間履修する。

（4）生徒の実態について

本校の生徒は、文章などを書き取ることにに関して、大変高い興味・関心を持つ。どの生徒も集中し、真剣に取り組み課題を解決していく。音楽科では、音楽の構成要素や形式の働きなどを感じ取って聴く鑑賞の能力や、音楽的效果を理解しつつ聴取するという鑑賞の能力を身に付させることが課題であると考える。

音楽の構成要素や形式の把握には時間や空間的把握力が必要となる。これは実に数学的であり、数学を苦手とする生徒は把握することに時間が必要である。また、文章理解の困難な生徒は、作者の作品に対する考えを深く掘り下げる能力やそれを言葉で表現することに課題がある。このような生徒に対し鑑賞から音楽を読み取る能力を育成させるためには、まず音楽自体に興味・関心をもたせ、楽譜や音符などを活用することの意義や効果に気付かせ、探究する意識を育てることが重要と考える。鑑賞を通して読譜力の向上へとつなげ、音楽を愛好する心情を育てることに重点を置き、本調査研究に取り組んだ。

3 調査研究の視点

各校種において、鑑賞の指導上留意すべき点はどのようなものであり、また、それらがどのように関連し、生徒にとってより効果的に作用するのかを明らかにする。

4 研究事例

伝統・文化に関する教育について、教育基本法では、以下のように述べられている。

教育基本法 前文（抜粋）

「伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。」

教育基本法 第2条（教育の目標 第5号）

「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」

また、平成20年1月の中央教育審議会答申では、音楽、芸術（音楽）に対する改善の基本方針として、以下のように述べられている。

中央教育審議会の答申（平成20年1月）

「国際社会に生きる日本人としての自覚の育成が求められる中、我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を基盤として、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重する態度等を養う観点から、学校や学年の段階に応じ、我が国や郷土の伝統音楽の指導が一層充実して行われるようにする。」

ゆえに、我が国の伝統音楽を大切にし、世界の音楽を学んでいくことが、国際社会で生きていくための人格を形成し、広く貢献していくことにつながると考えられる。

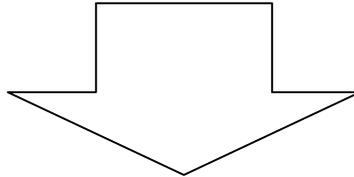
【実践例】

以上のことを踏まえて、具体的な伝統音楽の教材を取り上げ、述べていきたい。

最近授業をしていく上で感じることは、民謡や童謡「浜辺の歌」「荒城の月」などの語り継がれるべき日本の歌曲を知らない、歌えないという生徒が増えているということである。この問題は、どの高等学校においても問題となっている。この問題から、日本の伝統音楽に注目し、鑑賞の視点から研究した。以下に図で示す。

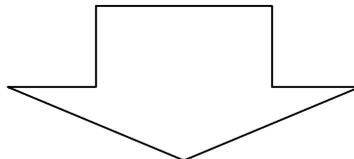
鑑賞において注意すべき点

- 小学校・・・和楽器の音楽を含めた我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡など生活とのかかわりを感じ取りやすい音楽、劇の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、
いろいろな種類の楽曲
- 中学校・・・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。
- 高等学校・・・文化的背景に基づく我が国の伝統音楽の特徴



発達段階における、育まれる心情

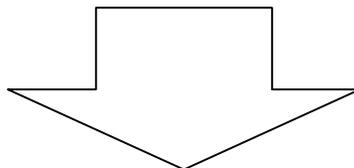
- 小学校・・・春の海(宮城道雄) 楽器のもつ音色の美しさを感じ取る
- 中学校・・・六段の調(八橋検校) 余韻の変化を味わいながら聴き、箏の音色に親しむ
独特な旋律を味わう
- 高等学校・・・乱輪舌(八橋検校) 独特な音楽構造や発想、日本音楽の持つ特色を楽しむ
作曲者の文化的、時代的背景を読み取る



芸術科の目標

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな心情を養う。

個々の生徒の芸術に対するとらえ方や考え方を深化させたり、それを自ら表現したりすること、あるいは、生徒のもっている芸術的な価値意識を一層拡大したり、新たな価値を見いだしたり、さらには、創造的な能力を高めたりしていく。



- ・芸術への永続的な愛好心をはぐくむ。
- ・感性を高め、豊かな心情を養うことを通して心の教育に深くかかわっていく。

5 成果と課題

私は、高等学校における目標達成のためには、小学校や中学校での発達の段階において鑑賞の分野が、どのような関わりをするのかを考えてきた。

小学校においては音楽を聴き、そのよさや楽しさ、美しさを感じ取ることの重要性を学ぶ。中学校においては、要素や曲想とのかかわりを感じ取り、音楽のよさを味わうことの大切さを学ぶ。高等学校においては、さらに深く、音楽と社会及び文化などのかかわりも重要視されている。このように、発達の段階において求められる要素が、より高度となっていくことを目の当たりにした。

日本の伝統音楽を題材にすることにより、文化の継承の重要性や音楽がもつ、効果的な伝達方法についても知ることができた。音楽を通し、先人たちの遺産を上手に引き継ぎつつ、新たな音楽文化を創造することは、私達の課題である。そのために我々教師が、日々の研鑽を怠らず、文化の継承をしていかなければならない使命を感じる。そして、質の高い音楽活動を児童生徒に体験させるために、小学校からの段階的な指導を踏まえ、その上により高度な能力がはぐくまれていくよう魅力的な授業を創造していきたい。

今回、幸運にも異校種間の連携の一員として選ばれ、小学校・中学校の教育現場を直接見ることができた。私自身、高校は高校だけの現場であり、そこではそこだけの教育であるとどこか区切りをつけてしまっていた。しかし、それは大きな間違いであると再認識することができた。また、一人一人の生徒に対する視点もどのような発達段階を経て教育されてきたのか、その上でどのように指導していけばよいのかを考えることができた。異校種間の連携は、今後も教師一人一人が意識していかなければならない課題である。私は、この経験を活かし、これからも継続的な連携を図っていきたいと思う。その結果が、生徒たちの生涯にわたり音楽を愛好し、豊かな情操を養うことへつながるのである強く信じているからである。

参考文献：

小学校学習指導要領解説 音楽編（文部省）平成11年5月
小学校学習指導要領解説 音楽編（文科省）平成20年8月
中学校学習指導要領解説 音楽編（文部省）
中学校学習指導要領解説 音楽編（文科省）平成20年9月
高等学校学習指導要領（文部省）平成12年3月

中学生の音楽1（教育芸術社）
中学生の音楽2・3上（教育芸術社）
中学生の音楽2・3下（教育芸術社）

高校音楽I 改訂版 MUSIC ATLAS（教育出版）

【資料 1】

以下、各校種の学習指導要領〔2 内容 B鑑賞〕において、留意すべき指導事項を抜粋したものを記す。

【小学校】

第 1 学年及び第 2 学年

- (1) 音楽を聴いてそのよさや楽しさを感じ取るようにする。
 - ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。
 - イ リズム、旋律及び速さに気を付けて聴くこと。
 - ウ 楽器の音色に気を付けて聴くこと。
- (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
 - ア 日常生活に関連して、情景を思い浮かべやすい楽曲
 - イ 行進曲、踊りの音楽、身体反応の快さを感じ取りやすい音楽など、いろいろな種類の楽曲
 - ウ 児童にとって親しみやすい、いろいろな演奏形態による楽曲

第 3 学年及び第 4 学年

- (1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを感じ取るようにする。
 - ア 曲想の変化を感じ取って聴くこと。
 - イ 主な旋律の反復や変化、副次的な旋律、音楽を特徴付けている要素に気を付けて聴くこと。
 - ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の組み合わせを感じ取って聴くこと。
- (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
 - ア 音楽の要素及び音色の特徴を感じ取り、聴く楽しさを得やすい楽曲
 - イ 劇の音楽、管弦楽の音楽、郷土の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲
 - ウ 独奏、合奏を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

第 5 学年及び第 6 学年

- (1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを味わうようにする。
 - ア 曲想を全体的に味わって聴くこと。
 - イ 主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成、音楽を特徴付けている要素と曲想とのかかわりに気を付けて聴くこと。
 - ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の重なりによる響きを味わって聴くこと。
- (2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
 - ア 音楽の構成及び音や声の重なりによる響きの特徴を感じ取り、聴く喜びを深めやすい楽曲
 - イ 歌曲、室内楽の音楽、箏や尺八を含めた我が国の音楽、諸外国に伝わる音楽など、いろいろな種類の楽曲
 - ウ 独唱、合唱、重奏を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

【中学校】

第1学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴くこと。
- イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取って聴くこと。
- ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を感じ取って聴くこと。
- エ 音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴くこと。

(2) 鑑賞教材は、我が国及び世界の古典から現代までの作品、郷土の伝統音楽及び世界の諸民族の音楽を取り扱う。

第2学年及び第3学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される曲想との関わりを理解して、楽曲全体を味わって聴くこと。
- イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと。
- ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を理解して聴くこと。
- エ 音楽をその背景となる文化・歴史などや他の芸術とのかかわりなどから、総合的に理解して聴くこと。

(2) 鑑賞教材は、我が国及び世界の古典から現代までの作品、郷土の伝統音楽及び世界の諸民族の音楽を取り扱う。

【高等学校】

音楽 I

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

- ア 声や楽器の特性と表現上の効果
- イ 楽曲の歴史的背景
- ウ 我が国の伝統音楽の種類と特徴
- エ 世界の諸民族の音楽の種類と特徴

音楽 II

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

- ア 楽曲の構造
- イ 音楽の歴史的背景
- ウ 文化的背景に基づく我が国の伝統音楽の特徴
- エ 文化的背景に基づく世界の諸民族の音楽の特徴

音楽 III

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

- ア 音楽の美しさと構造とのかかわり
- イ 音楽と他の芸術とのかかわり
- ウ 音楽と社会及び文化などのかかわり
- エ 現代の我が国と世界の音楽

新学習指導要領を見据えて

【小学校】

第1学年及び第2学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。
- イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。
- ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。

(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。

- ア 我が国及び諸外国のわらべうたや遊びうた、行進曲や踊りの音楽など身体反応の快さを感じ取りやすい音楽、日常の生活に関連して情景を思い浮かべやすい楽曲
- イ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、親しみやすい楽曲
- ウ 楽器の音色や人の声の特徴を感じ取りやすく親しみやすい、いろいろな演奏形態による楽曲

第3学年及び第4学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。
- イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。
- ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。

(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。

- ア 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡など生活とのかかわりを感じ取りやすい音楽、劇の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲
- イ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、聴く楽しさを得やすい楽曲
- ウ 楽器や人の声による演奏表現の違いを感じ取りやすい、独奏、重奏、独唱、重唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

第5学年及び第6学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。

(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。

ア 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化とのかかわりを感じ取りやすい音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲

イ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、聴く喜びを深めやすい楽曲

ウ 楽器の音や人の声が重なり合う響きを味わうことができる、合奏、合唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

【中学校】

第1学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 音を形づくっている要素や曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。

ウ 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。

(2) 鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切なものを取り扱う。

第2学年及び第3学年

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

ウ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。

(2) 鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切なものを取り扱う。

【資料2】

各校種における具体的な鑑賞教材の表から、共通する事項を取り上げ、日本の伝統音楽が発達の段階における生徒たちに与える影響について調べものをいかに記す。

【小学校】

1年生	2年生	3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・みっきい まうす マーチ ・せいじゃのこうしん ・たぬきのたいこ ・しろくまの ジェンカ ・みつばちの ぼうけん ・おどる こねこ ・かえるの ルンバ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロンドンばし ・こめ むぎ あそびうた ・ドレミのうた ・トルコ こうしんきょく ・メヌエット ・シンコペーションテッド クロック ・口ぶえふきと 小犬 ・森の 音がくかい 	<ul style="list-style-type: none"> ・小鳥のために ・(さん歌) ・茶つみ ・(かりうどの合しょう) ・(バイエルン ポルカ) ・(トランペットふきの休日) ・馬にのって ・ハックルベリーフィン ・二人でおどりましょう
4年生	5年生	6年生
<ul style="list-style-type: none"> ・花がさ音頭 ・神田ばやし ・とんび ・(バディネリ) ・(ガボット) ・(クラリネットポルカ) ・あいのあいさつ ・ピチカートポルカ ・つるぎのまい ・きゅう友 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの国々の音楽 ・アリラン ・まつり花 ・美しきロスマリン ・白鳥 ・威風堂々 第1番 ・アイネ クライネ ナハト ・ムジーク 第3楽章 ・浜辺の歌 ・待ちぼうけ ・荒城の月 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々の音楽 ・小犬のワルツ ・茶色の小びん ・赤とんぼ ・箱根八里 ・木星 ・春の海

【中学校】

1年生	2・3上	2・3下
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな映画音楽 フライングテーマ (E. T.) ロッキーのテーマ (ロッキー) ジョーズのテーマ (ジョーズ) メイン・テーマ (スターウォーズ) ・春 - 第1楽章 - ・魔王 ・日本の楽器の響き 尺八曲「巢鶴鈴慕 (鶴の巢籠)」 箏曲「六段の調」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ア カペラの魅力 アメイジング グレース 花輪をかけよ ピレンツェの歌 ヴォルガの舟歌 ・いろいろなポピュラー音楽 モーニン (ジャズ) スモーク オン ザ ウォーター (ロック) ・フーガ ト短調 (J.S. バッハ) 目覚めよ、と呼ぶ声あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の名曲 泉の水を求める鹿のように ハレルヤ (メサイヤ) 怒りの日 (レクイエム) サンクトゥス (レクイエム) おお運命よ (カルミナブラーナ) ・バレエの名曲 情景 (白鳥の湖) ワルツ (Coppélia) ・ミュージカルの名曲 Memory (キャッツ)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の音楽 神田ばやし、催太鼓 長崎くんち、さんさ踊り ・ アジアの諸民族の音楽 ズルナ、サントウール、ケーン ピーパー、アジェン、シタール (バグパイプ、ツィンパロム、 チャランゴ) 	<p>オルガン交響曲第5番から “第5楽章 トッカータ”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交響曲第5番 ハ短調 (ベートーヴェン) ・ アイダ 第2幕 第2場 ・ オペラの名曲 カルメン、魔笛、タンホイザー リゴレット、ちょうちょう夫人 ・ 文楽 「義経千本桜」渡海屋の段 ・ 歌舞伎 長唄「勸進帳」 ・ 日本の民謡 島原の子守歌、安来節、 ソーラン節、江戸木遣り節、 阿波よしこの ・ 世界の諸民族の音楽 カッターリー、ヨーデル、 オルティンドー、ヒメネ 	<p>One (コーラス ライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鍵盤楽器の名曲 小さな風車 練習曲 ハ短調 垂麻色の髪のエ女 ・ 室内楽の名曲 クラリネット五重奏曲 イ長調 ヴァイオリンソナタ イ長調 ・ 協奏曲の名曲 ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 ・ オーケストラの名曲 美しき青きドナウ フィンランディア ローマの松 ・ ブルタバ (モルダウ) ・ 雅楽 陵王 ・ 能 羽衣 ・ 郷土の芸能 おわら風の盆、祇園祭、 エイサー祭り ・ 世界の諸民族の音楽 フラメンコ、セマー、 フープ ダンス、レゴン
---	--	---

【高等学校】

1 年生	2 年生	3 年生
<p>[日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蘭陵王 ・ 巢鶴鈴慕 ・ 乱輪舌 ・ 京鹿小娘道成寺 ・ エクリプス ・ 響紋 <p>[イタリア]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グレゴリオ聖歌 ・ ヴァイオリン協奏曲「四季」 ・ オペラ「ラ・ボエーム」 <p>[ドイツ・オーストリア]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トッカータとフーガ ニ短調 ・ アイネ・クライネ・ナハトムジーク ・ 交響曲第9番ニ短調 合唱付 (ベートーヴェン) ・ 歌曲集「冬の歌」 ・ ニュルンベルクのマイスタ 	<p>[日本の伝統音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川中島 ・ 安宅 ・ 木遣音頭 ・ 散華 <p>[諸民族のアンサンブル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガムラン・モリンホール ・ バグパイプ・サンザ・ムビラ <p>[中世・ルネッサンスの音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートルダム・ミサ曲 ・ ロバンとマリオンの劇 ・ 教皇マルチェルスのみサ ・ 鳥の歌 <p>[バロックの音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心と口と行いと生活で ・ メサイア (ヘンデル) ・ クリスマス協奏曲 ・ ピッコロ協奏曲 ハ長調 	<p>[Voice]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マタイ受難曲 ・ トスカ ・ ローエングリン ・ 愛の小径・モンパルナス <p>[Keyboard]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラ・カンパネッラ ・ 狩り ・ ピアノ協奏曲 第1番 (チャイコフスキー) ・ ドリー ・ The Cat ・ Bashin' <p>[Strings]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハープ協奏曲変ロ長調 (ヘンデル) ・ ヴァイオリン協奏曲ニ長調 (ブラームス)

<p>ージンガー 第1幕 前奏曲</p> <p>[フランス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンブーラン ・ベルガマスク組曲 ・ボレロ <p>[ロシア]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会の絵 ・白鳥の湖 ・春の祭典 <p>[イギリス・アイルランド]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惑星 <p>[北欧・東欧・スペイン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルハンブラの思い出 ・ピアノ協奏曲イ短調 (グリーグ) ・フィンランディア ・ポロネーズ 第6番「英雄」 ・スラヴ舞曲 第10番 <p>[アメリカ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラプソディー・イン・ブルー ・6台のピアノ (ライヒ) ・The sound of music ・West side story ・フォルクローレ ・タンゴ ・スティールドラム・サンバ <p>[アジア]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルフー／二泉映月 (中国) ・サムルノリ (朝鮮半島) ・カリンガ族の打楽器アンサンブル (フィリピン) ・バリ島のケチャ (インドネシア) ・ジャワのガムラン (インドネシア) ・シタールの音楽 (北インド) ・ウードの音楽 (西アジア) ・メヘテルハーネ (トルコ) <p>[アフリカ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリオの音楽 ・トーキングドラムと太鼓 	<p>[古典派の音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魔笛 ・ひばり (ハイドン) ・田園 ・情熱 <p>[ロマン派の音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幻想交響曲 op. 14 ・別れの歌 ・詩人の恋 ・ヴァルキューレ ・椿姫 ・新世界より ・クラリネット五重奏曲 ・パガニーニの主題による狂詩曲 <p>[近代の音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢のあとに ・ゆりかご ・バレエ音楽「恋は魔術師」 ・牧神の午後への前奏曲 ・夜のガスパール <p>[現代の音楽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴォツェック ・革命 ・ペトルーシュカ ・Piri ・弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽 ・4分33秒 ・アトモスフェール ・涅槃交響曲 ・オペラ座の怪人 ・戦場のメリークリスマス 	<ul style="list-style-type: none"> ・弦楽四重奏曲第2番ニ長調 (ボロディン) ・シタールの音楽 <p>[W i n d s]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラリネット協奏曲イ長調 (モーツァルト) ・ハンガリー田園幻想曲 ・ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 (R. シュトラウス) ・舞踏詩「ペリ」に先行する ファンファーレ <p>[Japanese Music]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平家琵琶 ・和太鼓
--	--	--